

1型糖尿病専門外来のご紹介 ～最先端のインスリン療法を提供します～

糖尿病とはインスリンの働きが悪くなることによって、血糖値が上昇してしまう病気です。大きくは1型糖尿病と、2型糖尿病に分類されます。

※インスリンとは…血糖を下げる働きのあるホルモンです。
インスリンの作用が不足した状態になっているときに、注射でインスリンを補うことによって血糖を下げます。

1型糖尿病と2型糖尿病の違い

1型糖尿病は、膵臓からインスリンを出す細胞が壊されてしまうためインスリンがほとんど出なくなります。生命を維持するためにインスリン療法にて量を調整し、食事・運動療法などを生活に取り入れることで制限の無い質の高い生活を行うことができます。

2型糖尿病は、遺伝的な体質に加え、肥満や運動不足などが原因と言われています。治療法として食事・運動療法、内服療法などがあります。



《川村智行医師 プロフィール》

2022年4月より月に1回、PL病院小児科で「1型糖尿病専門外来」をおこなっています。大阪公立大学(旧 大阪市立大学)医学部附属病院小児科では30年以上、1型糖尿病専門外来を担当しています。インスリンポンプ療法やカーボカント、各種持続血糖モニタリング(CGM)など、我が国でも最先端のインスリン療法のエキスパートです。

PL病院では、先進デバイスを揃え、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師がチームとなって、1型糖尿病の最先端のインスリン療法をサポートできるように取り組んで参ります。

1型糖尿病の患者様であれば乳幼児から高齢者までどなたでも通院加療ができます。



【お問い合わせ先】 小児科外来(0721-24-3100:代表)